

# あいち公共交通ビジョン

～世界との交流を促進し、安心・快適な暮らしを支える あいちの公共交通～

## 概要版

### 【策定趣旨】

今後の人口減少や少子高齢化の進展、東京オリンピック・パラリンピックの開催やリニア中央新幹線の開業などを見据え、鉄道、バス、タクシー等が相互に連携し、効率的で利便性の高い総合的な公共交通ネットワークの構築を目指して、本県の望ましい公共交通体系の姿を示し、国、県、市町村、交通事業者等の連携した取組を促進するため策定。

### 【取組期間】

2027(平成39)年度を展望しつつ、2017(平成29)年度から2021(平成33)年度までの5年間。

### 【対象とする公共交通】

人の移動を支える鉄軌道、バス、タクシーを基本とする。

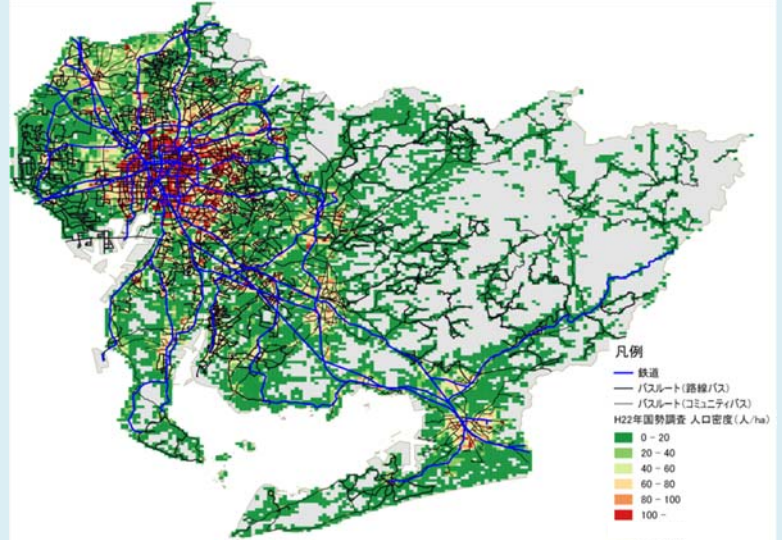


## あいちの公共交通の現状と公共交通を取り巻く状況変化

### (1) あいちの公共交通の現状

- 基幹的公共交通のネットワークは全体で見れば何とか維持されている。
- 市町村においては、地域の実情に応じた様々な取組がなされ、生活交通の確保が図られているが、その財政負担は増大。
- 自動車の分担率が58.9%と高く、増加傾向にあるのに対し、鉄道及びバスの分担率は合計12~14%程度と低く、横ばいで推移。鉄道、バス、タクシーの輸送人員は、いずれもここ数年、ほぼ横ばいで推移。
- 目的別トリップ構成比の推移を見ると、業務目的の割合は減少し、自由目的(買物、食事、レクリエーションなどの生活関連のトリップ)の割合が増加。
- 高齢者のトリップ数が増加しており、特に自動車利用は約2倍に増加。
- 全ての目的で1トリップ当たり所要時間が増加しており、生活交通圏域の広域化がうかがわれる。

■公共交通網と人口密度(2010年)

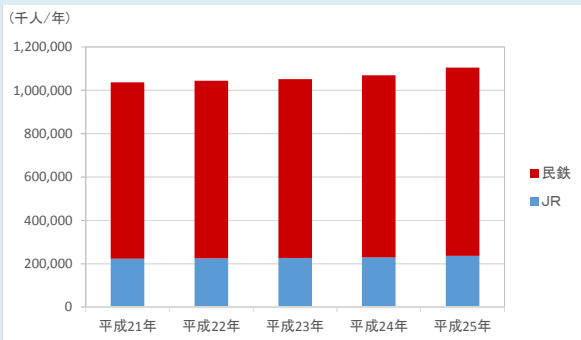


人口密度の高い地区(40人/ha以上)の多くは、基幹的公共交通(鉄道・路線バス)によりカバーされている。人口密度の低い地区ではコミュニティバスやデマンド型交通などによりカバーされている。

出典：国土交通省「国土数値情報」、国勢調査500mメッシュデータから作成

上記と同様に、2010年のデータにより基幹的公共交通からの徒歩圏内に立地する割合を分析した結果は、医療施設77%、福祉施設72%、商業施設81%となり、これら生活サービス施設の多くは基幹的公共交通によりカバーされている状況。  
 [算出方法：徒歩圏は鉄道800m、バス300mとして算定]

■愛知県の鉄道輸送人員の推移



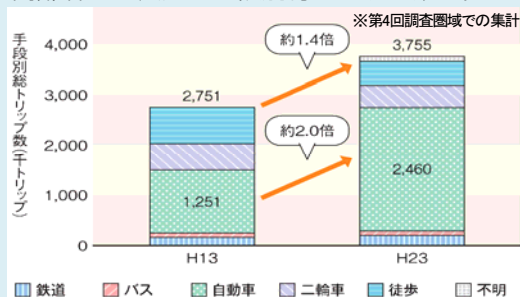
出典：中部運輸局「数字でみる中部の運輸」

■愛知県の乗合バス輸送人員の推移



出典：中部運輸局 愛知運輸支局ホームページ

■高齢者の代表交通手段別総トリップ数の変化



出典：第5回パーソントリップ調査「人の動きからみる中京都市圏のいま」

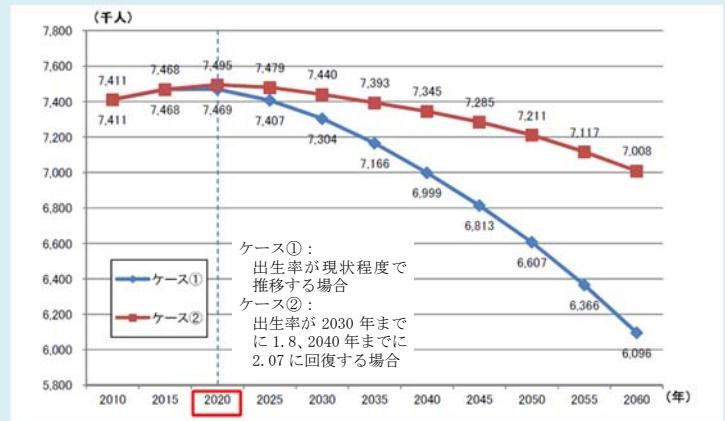
■目的別所要時間の推移



## (2) 公共交通を取り巻く状況変化

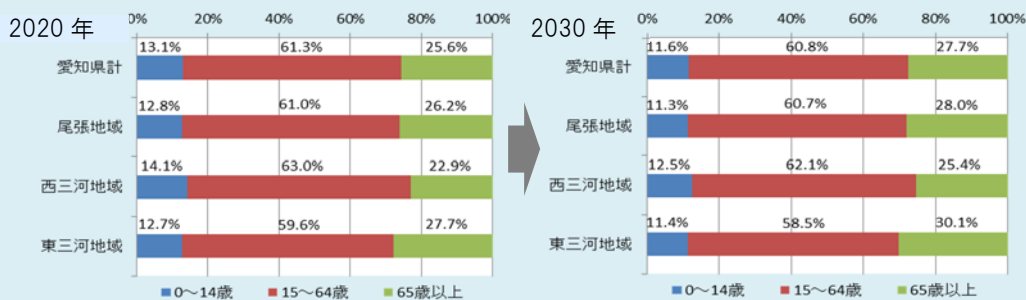
- ① リニア中央新幹線の開業
- ② インバウンドを始めとする観光交流需要の増大
- ③ 交通に関する技術革新の進展
- ④ 人口動向(人口減少・少子高齢化)
- ⑤ 地球温暖化を始め環境問題への対応
- ⑥ 災害リスクの増大

■愛知県の人口推移



出典：「愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」(H27.10)

■地域別の年齢3区分別人口割合



出典：「日本の地域別将来推計人口」(H25.3推計) 国立社会保障・人口問題研究所

# 2

## あいちの公共交通の課題

<愛知県の公共交通の現状と公共交通を取り巻く状況の変化を踏まえて課題を整理>

### 1. 地域の活力を支える公共交通の課題

- ① リニア開業効果を高める公共交通ネットワークの構築
- ② 空港機能の強化等と連携した広域的な公共交通ネットワークの構築
- ③ 地域の交流・対流を促進する公共交通ネットワークの構築

### 2. 暮らしの安心を支える公共交通の課題

- ① 公共交通ネットワークの骨格を形成する鉄道の維持・活性化
- ② 地域の生活交通軸となるバス交通等の維持・活性化
- ③ 生活圏の広域化に対応したバス交通等の広域連携
- ④ 都市機能の集約化と一体となった公共交通体系の構築
- ⑤ 地域に根差した移動手段の確保
- ⑥ 健康や環境にやさしく安全な交通手段への転換

## あいちの公共交通のめざすべき方向

### (1) あいちビジョン 2020 における「めざすべき愛知の姿」

＜愛知県の地域づくりの指針となる「あいちビジョン 2020」が掲げる「めざすべき愛知の姿」＞

リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

～5 千万人リニア大交流圏の西の拠点として、人、モノ、カネ、情報を呼び込む大都市圏

日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点

～企業や人材が集まり、革新的な技術の創出や成長産業への展開が進む最強の産業県

安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会

～人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知

### (2) あいちの公共交通の役割

＜「あいちビジョン 2020」やその関連計画における公共交通関連の位置づけから役割を整理＞

- ① リニア大交流圏の西の拠点として、日本の成長を牽引する産業の革新・創造拠点としての役割を支える公共交通
- ② インバウンドを中心に増加する観光需要への対応など、新たな戦略産業としての観光振興に資する公共交通
- ③ 人口減少、超高齢社会の到来を背景に、集約型都市構造など地域のまちづくりを誘導する公共交通
- ④ 大規模災害や交通事故への対応など、安心安全な移動環境の確保に資する公共交通
- ⑤ 低炭素化を推進し、環境にやさしい社会を実現するための公共交通

### (3) あいちの公共交通の基本理念

**世界との交流を促進し、**

**安心・快適な暮らしを支える あいちの公共交通**

～リニア開業を見据え、一層高まる交通ポテンシャルや、高度な先進技術を活かし、ローカルからグローバルまでの活発な交流と幸せな暮らしを支える利便性の高い公共交通ネットワークを形成～

### (4) 基本理念の実現を図るための基本方針

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 活 力   | 1 「産業首都あいち」を牽引する交通体系の構築   |
| 交 流   | 2 「交流拠点あいち」を支える交通体系の構築    |
| コンパクト | 3 「集約型まちづくり」を支える交通体系の構築   |
| 安心安全  | 4 「安心して住めるあいち」を支える交通体系の構築 |
| 環 境   | 5 「環境首都あいち」を支える交通体系の構築    |

## 基本方針1「産業首都あいち」を牽引する交通体系の構築

## (1)リニア開業効果を高める公共交通ネットワークの形成

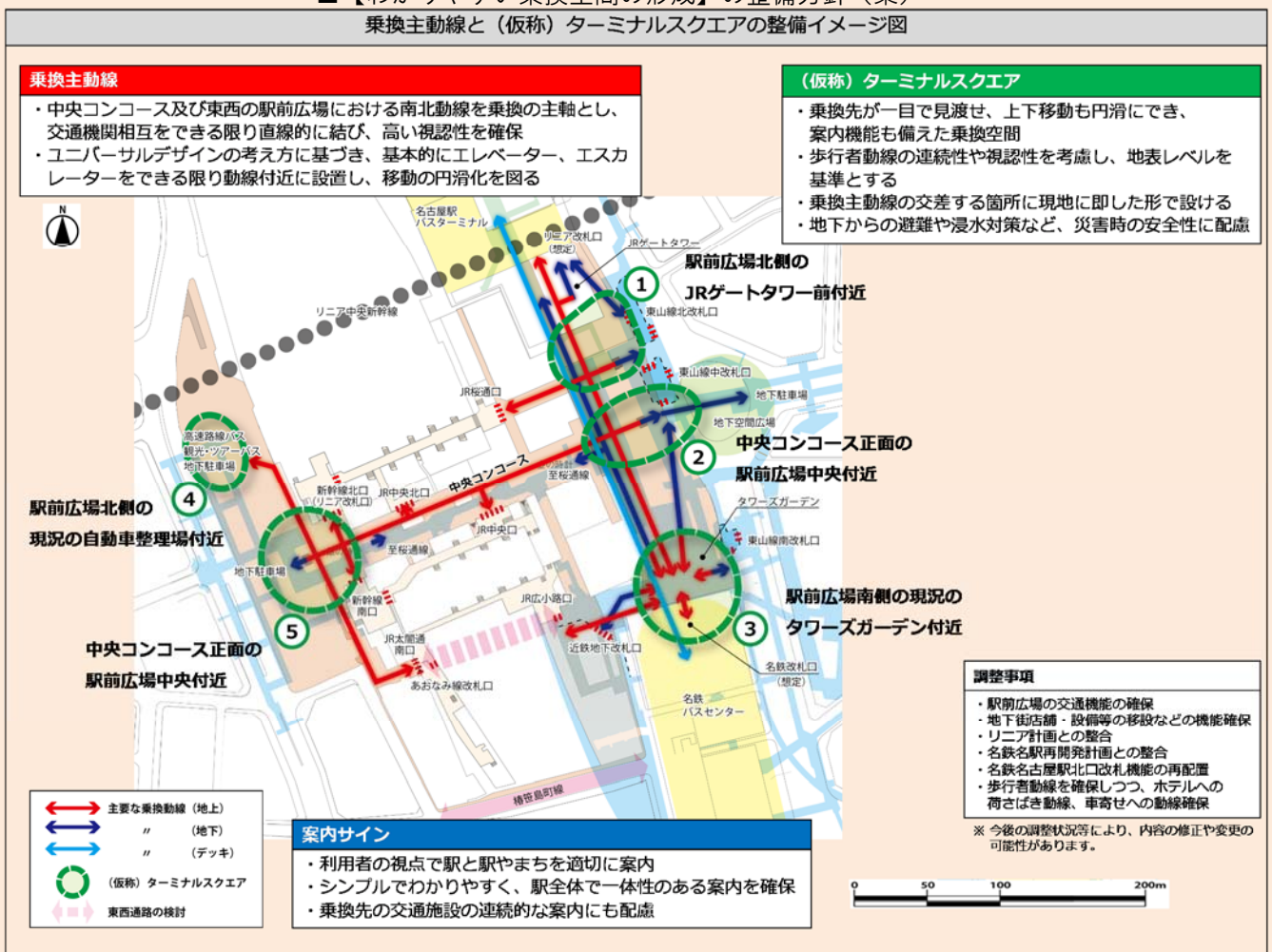
## ①名古屋駅の乗継利便性向上

リニア中央新幹線により、首都圏との所要時間が大幅に短縮される名古屋駅について、わかりやすい乗換空間[(仮称)ターミナルスクエア]の形成など、交通機関相互の乗換利便性向上を図る取組を進める。

- ア. リニアと各交通機関との結節性を確保      イ. 乗換主動線の直線化と円滑化  
ウ. (仮称)ターミナルスクエアの形成      エ. 乗換を支える案内サインの充実

## ■【わかりやすい乗換空間の形成】の整備方針(案)

## 乗換主動線と(仮称)ターミナルスクエアの整備イメージ図

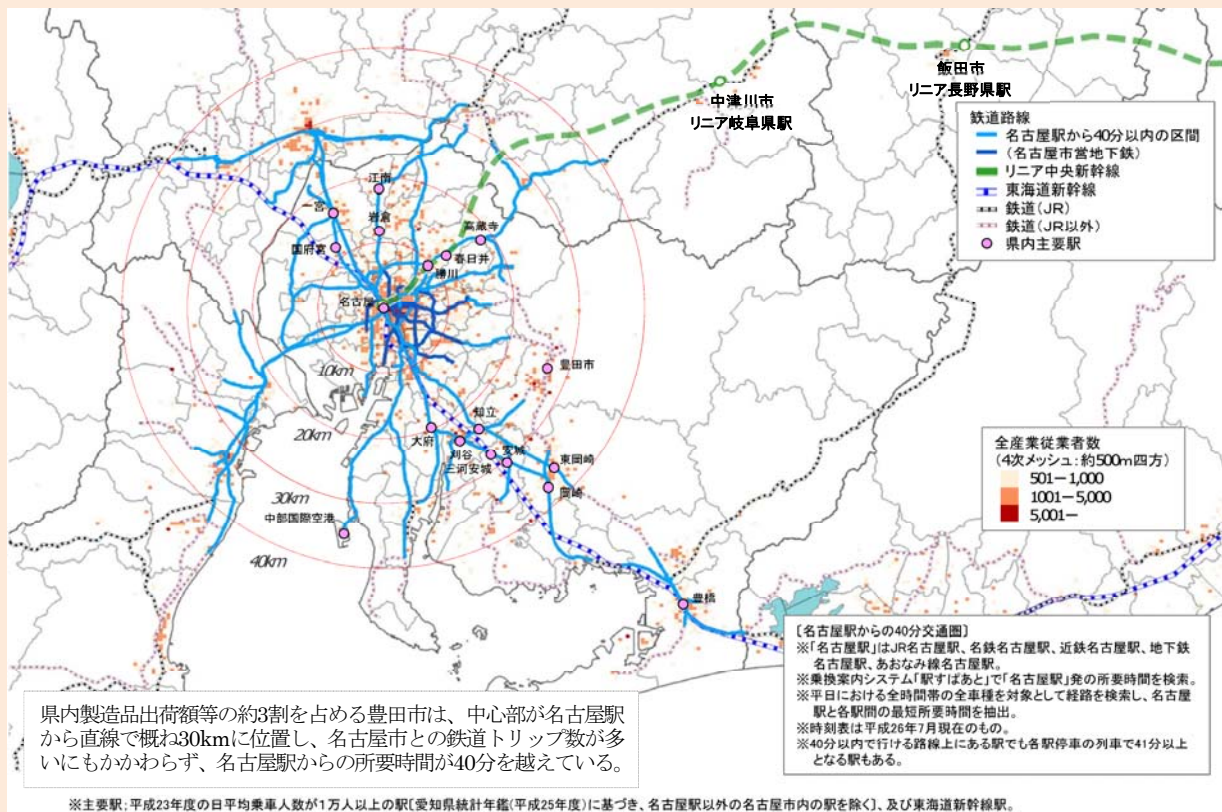


## ②名古屋駅のアクセス利便性向上

リニア中央新幹線による時間短縮効果をより広域的に波及させるため、産業集積地や地域の拠点都市、広域観光拠点と名古屋駅のアクセス利便性向上に向けた取組を進める。

- ア. 名古屋駅と産業集積地間のアクセス機能強化  
(名鉄三河線の複線化などによる名古屋駅－豊田市駅間の速達化など)  
イ. 名古屋駅と県内外の主要都市や観光拠点間のアクセス機能強化

## ■名古屋駅からの40分交通圏



出典：愛知県「リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案」参考資料をもとに作成

### ③リニア中央新幹線中間駅の利活用

豊田市の北部や新城設楽の奥三河などの県境付近においては、岐阜県や長野県のリニア中間駅の利活用により、首都圏との所要時間の短縮、県内外の地域間連携・交流を高めることも考えられることから、公共交通アクセスのあり方やこれらを活かした観光振興などの可能性について検討を進める。

ア. 隣接の岐阜県及び長野県との中間駅の活用に向けた検討会の開催

## (2) 空港を拠点とする広域的な公共交通ネットワークの充実

### ④中部国際空港(セントレア)へのアクセス利便性向上

中部国際空港の二本目滑走路を始めとする機能強化を図るとともに、空港と県内外の主要都市や主要観光地とのアクセス利便性の向上に向けた取組を進める。

ア. 名鉄名古屋駅における中部国際空港行き列車の「わかりやすい乗り場」、「乗降しやすい環境」の確保に向けた取組の推進

イ. 中部国際空港と各拠点都市間のバス路線及び運行本数の充実

ウ. 深夜到着便に対応するバス輸送のさらなる充実

### ⑤県営名古屋空港へのアクセス利便性向上

航空旅客の増加、航空機の生産拠点化に伴う通勤・ビジネス需要の増大、「あいち航空ミュージアム」(愛知県が平成29年秋頃のオープンを目指して県営名古屋空港内に整備する、航空機をテーマとしたミュージアム)等の設置による観光目的需要の増大が見込まれる県営名古屋空港周辺において、公共交通アクセスの拡充に向けた取組を進める。

ア. 新たな需要に対応した公共交通アクセスの拡充

## ■セントレアリムジンバス [イ.の参考例]

名鉄バスでは、実証運行を経て、名古屋駅と中部国際空港を結ぶ「セントレアリムジン」を2015年7月1日から本格運行し、その後も増便が図られている。

出典：中部国際空港ホームページ

## 基本方針2「交流拠点あいち」を支える交通体系の構築

### (1) 観光交流を促進する公共交通ネットワークの充実

#### ⑥ 観光地への公共交通アクセス充実

観光目的地への快適なアクセス充実は、観光交流の活性化に欠かすことができないことから、外国人観光客を含む個人旅行者にとって利用しやすい公共交通の充実に向けた取組を進める。また、リノモなど当地ならではの交通機関や、ユニークな車両などが、集客につながりうることから、公共交通機関そのものを観光資源として活用する取組も進める。

ア. 東海道新幹線駅を始めとする鉄道駅や港湾などの交通拠点と観光地を結ぶ公共交通（路線バスやコミュニティバス、タクシー等）の充実・活用

イ. 各観光資源を公共交通で結ぶ特色あるモデルルートを作成

ウ. 公共交通そのものを観光資源として活用する取組の推進

#### ⑦ 観光客等の利便性向上

国が進める昇龍道プロジェクト（中部北陸圏の知名度向上を図り、海外からのインバウンドを推進するために取り組んでいるプロジェクト）とも連携し、訪日外国人を含めた観光地への公共交通利便性向上に向けた取組を進める。

ア. 観光振興や地域振興の取組と連携した企画切符等の導入

イ. 鉄道、バス等の異なる交通機関間で共通の周遊パス等の導入

ウ. 多言語表示や駅ナンバリング等のわかりやすい案内表示の実施

エ. クレジットカード決済、ICカード利用等の拡大

■企画切符の販売【アの参考例】  
＜犬山城下町きっぷ＞



出典：名古屋鉄道株式会社ホームページ

### (2) 地域の交流・対流を促進する公共交通ネットワークの形成

#### ⑧ 交通行動の広域化に伴う地域間連絡軸の形成

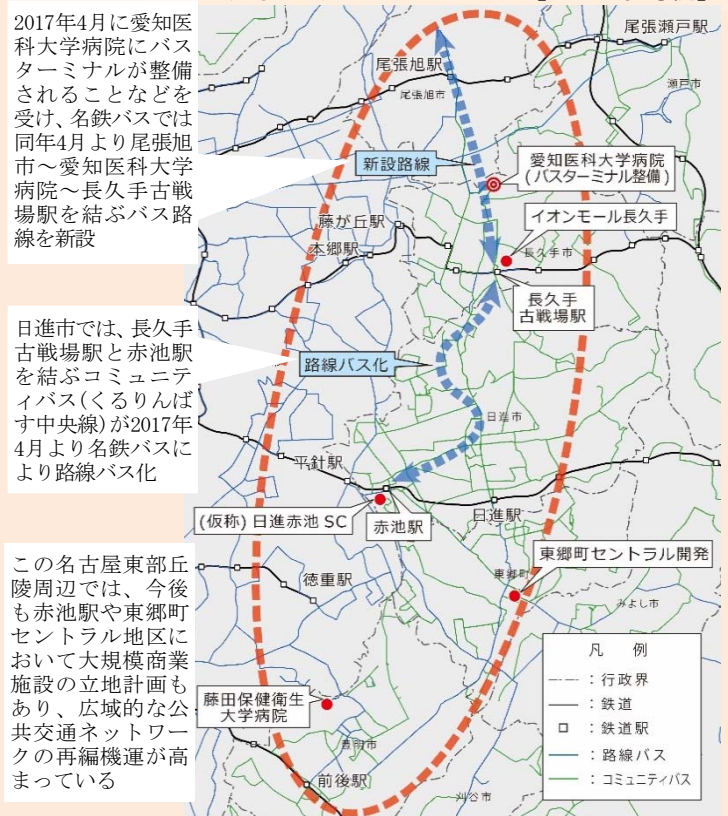
県民の行動圏域の拡大により、市町村あるいは県の行政界をまたぐ地域づくりの重要性が増しており、広域的な地域の課題に対応することが求められていることから、地域が相互に作用しあい、地域の活力を向上させていくため、各地域の交通結節点と地域の拠点施設相互を結び、地域間の交流・対流を促進する公共交通ネットワークの形成に向けた取組を進める。

ア. 定住自立圏構想等を踏まえた路線バス等による都市間連絡軸の検討

イ. 新たな拠点形成（商業、医療、観光等）に対応した鉄道や拠点相互を連絡する広域的公共交通ネットワークの検討

ウ. 高速バス等を活用した地域間の連携強化の検討

■新たな拠点形成に対応した  
広域的公共交通ネットワーク【イ.の参考例】



## 基本方針3「集約型まちづくり」を支える交通体系の構築

### (1) まちづくりと連動した計画的な公共交通ネットワークの形成

#### ⑨集約型まちづくりを支える公共交通ネットワークの形成

都市部では都市機能の集積、都市の再構築とあわせて、中心市街地や生活拠点が公共交通などにより結ばれた多核連携型ネットワークの形成を図り、郊外では都市部との適切な役割分担と連携を進めていく。

ア. 公共交通ネットワークと連携した「立地適正化計画」（「コンパクトなまちづくり」と「公共交通によるネットワーク」の連携の考えで都市全体の構造を見直す計画）の策定やまちづくりに合わせた公共交通の見直し・再編

イ. 公共車両優先システムやバス優先レーン等の導入検討

ウ. まちなかにおける公共交通優先施策の検討

（トランジットモール、LRT[次世代型路面電車システム]、BRT[バス高速輸送システム]等）

#### ■東郷町における集約型まちづくりとバスターミナルの計画 [ア.の参考例]



東郷町セントラル開発では、公共施設が集まるまちの中心部に、バスターミナルや商業施設を導入し、公共施設や商業施設、公共交通機関などが徒歩圏内に集められた誰もが歩いて暮らせる「集約型」のまちを目指している。

出典：東郷町提供資料

### (2) 乗継拠点における多様なモード間の連携強化

#### ⑩交通結節点における乗継利便性の確保

複数の交通手段が接続し乗継が行われる鉄道駅やバス停などの拠点について、アクセスの充実や利用環境の向上に向けた取組を進め、乗継がしやすい交通結節点の形成を図る。

ア. 鉄道駅等でのパーク＆ライド、サイクル＆ライドの推進

イ. 乗継拠点における交通機関相互のダイヤ調整や遅延時バス待ちルールの設定

ウ. 乗継拠点における目的地までの移動情報の提供（手段、時刻、料金、運行情報等）

#### ■パーク＆ライド(イオンモール名古屋茶屋) [ア.の参考例]



イオンモール名古屋茶屋の一角に約 3,000 m<sup>2</sup>のバスターミナル（南陽交通広場）が整備され、名古屋市営バスや三重交通バスが乗り入れている。こうした乗継環境を活かし、イオンモールに駐車し、バス通勤・通学を促す取組が進められている。

出典：イオンモール名古屋茶屋ホームページ

#### ■総合交通案内板(安城市) [ウ.の参考例]



安城市内の交通結節点である鉄道の主要駅（JR安城駅、三河安城駅、新安城駅、南安城駅、桜井駅）にある観光案内板にバス路線などの交通アクセス情報を載せることで、来訪者等にもより分かりやすいデザインに作り替えた。

出典：安城市ホームページ



## 基本方針4「安心して住めるあいち」を支える交通体系の構築

### (1) 災害に強い公共交通ネットワークの形成

#### ⑪ 災害に強い公共交通ネットワークの形成

大規模自然災害に備え、交通インフラの耐震性強化などの基盤整備にあわせ、公共交通ネットワークの早期復旧のための体制整備や旅客の安全確保、鉄道などによる確実かつ安全な輸送確保等に向けた取組を進める。

- ア. 高架橋や駅等の鉄道施設の耐震化や代替手段の確保など災害時における公共交通ネットワークの機能維持に係る対策の推進
- イ. 交通事業者のBCP(事業継続計画)の策定など災害から早期に復旧するための対策の推進
- ウ. 災害時における公共交通の運行確保に向けたプローブデータ(カーナビ等の車載機により蓄積された自動車の走行履歴情報)等の活用
- エ. 災害時の帰宅困難者対策、避難者・要配慮者の輸送計画の検討及び輸送体制の確立

### (2) 新たな技術等を活用した交通安全の確保

#### ⑫ 公共交通輸送における交通安全の確保

先進の自動車安全技術や、ITS技術などの活用、普及・啓発を進め、事故の未然防止など公共交通の安全確保に向けた取組を進める。

- ア. 自動車安全技術やITS技術など関連技術の研究・開発の推進
- イ. 衝突防止システム、歩行者検知システム等の活用検討・導入
- ウ. 体験型イベントの開催などITS技術等の普及啓発の推進

#### ■ ITSの活用(電波を活用した安全運転支援システム)[ア.の参考例]



出典: ITS Japan 「ITS年次レポート2016年版 日本のITS」

### (3) 地域特性に応じた生活交通の確保・維持

#### ⑬ 地域住民の生活を支える公共交通ネットワークの形成

地域の課題や実情に即し、様々な制度や地域資源、技術を組み合わせ、持続可能な公共交通サービスの提供に向けた取組を進める。

- ア. 地域公共交通網形成計画等の公共交通に関する計画の策定
- イ. 地域住民の生活行動や移動需要を把握するための実態調査の実施
- ウ. 地域公共交通の役割や地域の実情に応じた輸送手段の選択検討(デマンド型交通・自家用有償運送・タクシー等の活用、スクールバス混乗、貨客混載など)
- エ. 地域公共交通の課題解決に向けたICT(情報通信技術)等の先進技術の活用
- オ. 通学、通勤の時間帯限定での直行便など利用者ニーズに応じて工夫したバス運行の検討・実施

#### ■ 地域の実情に応じた輸送手段の構築-「おでかけ北設」[ウ.の参考例]



基幹バス	町村をまたぐ移動や、通院・通学を考慮した路線
支線バス	基幹バス路線以外の現町村バスの各路線
予約バス	電話申込などによる予約制乗合バス
タクシー・スクールバス・各種移送サービス	児童・生徒向けの移動手段、予約制による個別移送サービス

北設楽郡の3町村では、郡内に住む全ての人が豊かな生活を行うことができるよう、生活に必要な移動の機会を確保するため、連携して、利用者の視点から抜本的に地域交通ネットワークの見直しを実施し、鉄道・バス・スクールバス・タクシー・移送サービスを適切に組み合わせた一体的システム(北設楽郡総合交通システム「おでかけ北設」)を構築している。

出典: 中部運輸局「よりよい地域公共交通ネットワークを形成するための提言書」(H22.3)

#### ⑭地域で公共交通を支える仕組みの構築

地域公共交通の維持・活性化に向け、関係者がそれぞれの役割を果たし、公共交通ネットワークを維持するための取組を進める。

- ア. 地域公共交通会議や法定協議会を通じた関係者間の協議・調整
- イ. 愛知県バス対策協議会やバス担当者研究会による広域での関係者間の調整
- ウ. 公共交通施策を担う人材の育成(実務担当者向け講習会等の開催)
- エ. 地域公共交通の利用促進を図る組織の設置及び活動支援
- オ. 運転者不足を解消するための取組の推進

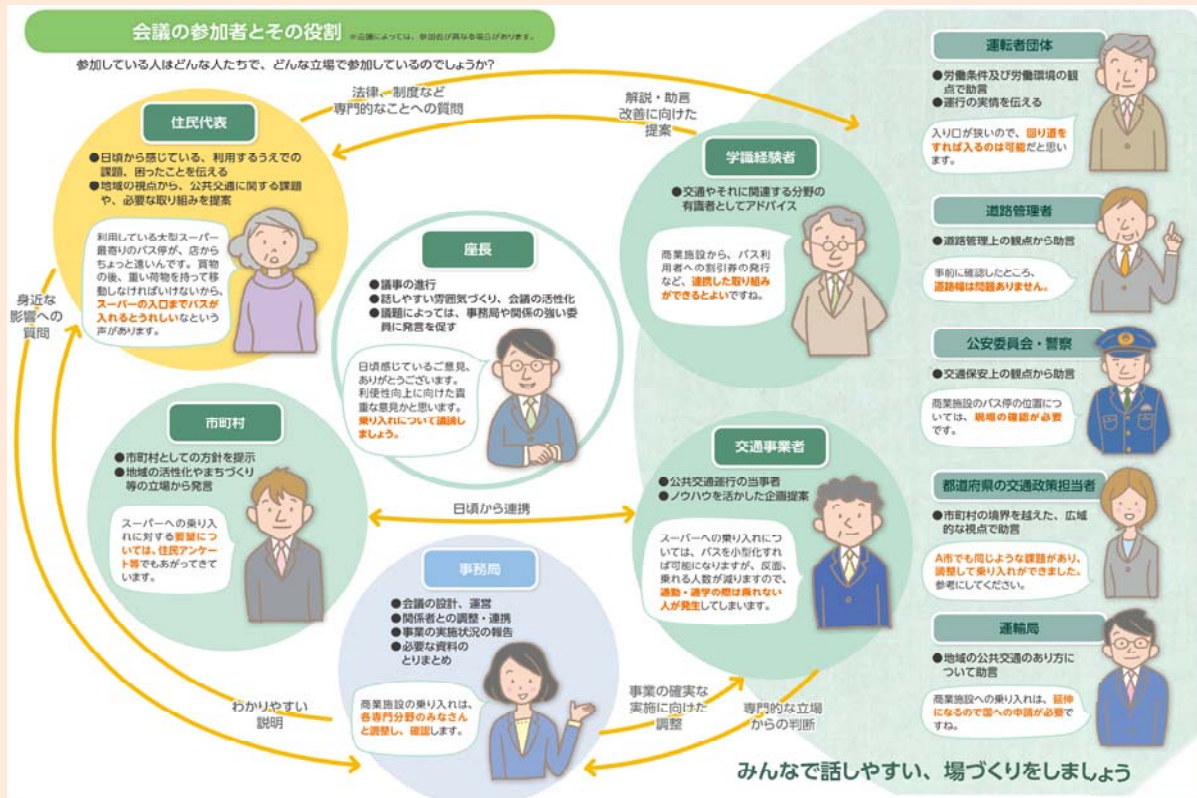
#### ■住民主体の利用促進の取組（武豊町） バスベンチづくり [エ.の参考例]



行政・運行事業者と協力しながら町民自らがコミュニティバスの利用促進事業の企画や運営を実施。写真は停留所付近にオリジナルベンチを設置している様子。

出典：武豊町コミュニティバス利用促進友の会

#### ■地域公共交通会議の参加者とその役割



出典：中部運輸局「地域公共交通について活発で良い議論ができる会議のために。」

#### (4)高齢者や移動困難者も安心して暮らせる人にやさしい交通体系の創出

#### ⑮誰もが安心して公共交通を利用できる環境の創出

高齢者や障がい者を始め、誰もが乗り降りしやすく、利用しやすい公共交通に向けた取組を進める。

- ア. 鉄道駅におけるエレベータやホームドアなど交通施設におけるバリアフリー化の推進
- イ. ユニバーサルデザインに基づき設計された車両の導入推進
- ウ. 障がい者や外国人など誰にでもわかりやすい情報提供・案内表示(サイン等)の充実

#### ■ノンステップバスの例 [イ.の参考例]



出典：国土交通省ホームページ

#### ⑯高齢者の公共交通利用促進

高齢者の公共交通の利用促進に向け、優遇措置や運転免許証自主返納者に対する支援事業など、地域特性を踏まえた取組を進める。

- ア. 高齢者に対する優遇措置の検討・実施（敬老パス、バス回数券の交付等）
- イ. 高齢者の運転免許証自主返納支援事業の推進（返納者への運賃割引、バス・タクシーの乗車券の交付等）

## 基本方針5 「環境首都あいち」を支える交通体系の構築

### (1) 環境首都あいちに相応しい公共交通機関の充実

#### ⑰ 環境にやさしい公共交通の実現

環境にやさしい次世代自動車の公共交通への導入を図っていくとともに、次世代自動車に係るインフラ整備に向けた取組を進める。

- ア. 公共交通分野における次世代自動車の導入
- イ. 次世代自動車のエネルギー供給設備の整備  
(充電設備、水素ステーション)

#### ■ バス及びタクシーでの次世代自動車導入事例 [ア.の参考例]



↑ 豊田市おいでんバス  
(燃料電池バス)

トヨタ『MIRAI(ミライ)』を用いた燃料電池車タクシー↓



出典：豊田市提供資料、つばめタクシーグループホームページ

### (2) 公共交通の利用促進に向けた取組の推進

#### ⑱ 過度な自家用車利用からの転換を促す取組

環境にやさしい社会を目指すため、県民や事業所との協力・連携の下、環境負荷の小さな交通手段である公共交通・自転車等の利用への交通行動の転換を促すような取組を進める。

- ア. 「エコ モビリティ ライフ」(クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイル) の推進
- イ. 住民や学校、職場等を対象として意識啓発を図るモビリティ・マネジメントの実施(公共交通ガイドブックや啓発本の作成・発行等)
- ウ. 公共交通に親しむ日などの公共交通利用促進キャンペーンの実施

#### ■ 「エコ モビリティ ライフ」の推進 [ア.イ.の参考例]



出典：愛知県ホームページ

#### ⑲ 公共交通の利便性等を高める取組

鉄道駅・バス停等の待合環境や運行サービスのさらなる改善を図るとともに、わかりやすく、利用しやすい情報提供や魅力的な料金制度の導入など利便性の高い利用環境の創出に向けた取組を進める。

- ア. 待合環境の整備(上屋・ベンチ等)やバスロケーションシステムの導入
- イ. 利用者ニーズに合ったエリア単位での路線・時刻表・主要な目的地等の情報を掲載した便利な公共交通マップ等の作成
- ウ. 経路検索システムや交通案内システム等によるわかりやすい情報提供
- エ. ダイヤ・サービス水準の改善(便数・運行時間の拡大等、パターンダイヤ等のわかりやすい運行等)
- オ. 運行改善やサービス向上に向けた公共交通の利用や人の移動に係るビッグデータの分析・活用
- カ. 料金割引制度等の導入(乗継割引、ファミリー割引、買物バス券、フリー乗車券等)

#### ■ バス情報の見える化 ケータイ・スマホでのバス検索システムの取組 [ウ.の参考例]



出典：兵庫県ホームページ

兵庫県では、バス情報の“見える化”を推進するなど、バス交通の活性化に向けた取組を行っている。路線バス事業者やコミュニティバス運行市町と協力し、鉄道とバスとの一括ネット経路検索を可能にすべく、「ネット経路検索に県内バスを載せよう！」プロジェクトを推進するとともに、スマートフォンや携帯電話から路線バスの運行情報等をリアルタイムで入手できるバスロケーションシステムの導入を促進している。

#### ■ 公共交通の利用促進に向けた料金割引の取組 [カ.の参考例]



出典：豊川市ホームページ

東三河地域では、夏休み期間に東三河の全バス路線(一部除く)で、こども運賃を1乗車50円とし、バスの利用促進を図っている。

## (1) 関係者の役割と連携・協働

ビジョンの実現には、県、国、市町村、交通事業者、地域住民その他様々な関係主体が、公共交通は地域を支える重要な社会基盤であるとの認識を共有し、連携・協働して取り組むことが不可欠である。それぞれの基本的な役割は以下のとおり。

県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンがめざす方向に向かって、国、県、市町村、交通事業者等の連携した取組を促進し、関係者が一体となったビジョンの着実な推進を主導する。</li> <li>・広域行政を担う自治体として、各市町村の区域を超えた広域的な見地から、必要な助言その他の援助を行う。</li> <li>・市町村界を跨ぐ広域的・基幹的な公共交通については、その確保に向けて、主体的に取り組む。</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に身近な基礎自治体として、区域内の地域公共交通の確保、活性化・再生に、まちづくりと一体的に、関係者と協力・連携を図りつつ、主体的に取り組む。</li> <li>・市町村界を跨ぐ地域公共交通の確保に向けては、県及び関係市町村と協力・連携して取り組む。</li> </ul>
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通政策基本法等に基づき諸施策を推進する中で、支援制度等の活用により、このビジョンに基づく取組が着実に進められるよう、ビジョンの推進に協力する。</li> <li>・とりわけ、地域公共交通の活性化・再生については、情報収集や研究開発、人材養成等に努めるほか、支援制度の運用によりビジョンの推進に配慮する。</li> </ul>
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に期待される様々な役割を踏まえ、地域のニーズに応じた適切な交通サービスの提供を図るとともに、その質の向上に努める。</li> <li>・行政が実施する施策に協力するとともに、公共交通の利用促進に取り組む。</li> </ul>
県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通会議など地域の公共交通のあり方の検討に積極的に参画するほか、行政や交通事業者等の公共交通の維持・利用促進に向けた施策の推進に協力する。</li> <li>・クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」を実践するなど、公共交通の維持・確保、利用促進に努める。</li> </ul>

## (2) ビジョンの推進とフォローアップ

ビジョンの推進に当たっては、関係者が連携・協働し、進捗状況等を確認しながら、取組を進める必要があるため、関係者等によるフォローアップのための組織を設置し、定期的に主な取組の実施状況等を確認し、課題等の共有を図っていく。

また、今後の社会・経済情勢の変化や関係する諸制度、技術開発の動向等も踏まえ、必要に応じて施策内容を見直すなど、柔軟かつ適切に対応していく。